

だいせん

# 市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



一糸乱れぬ機敏な動作を披露〔7/21 大仙市仙北市美郷町支部  
消防訓練大会 規律訓練の部で優勝した協和支団(写真:上)と  
小型ポンプの部で第3位の神岡支団(写真:左)〕

## 主な内容

## CONTENTS

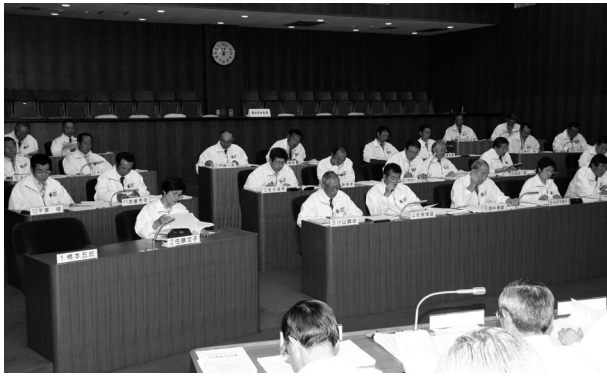
- |                     |     |
|---------------------|-----|
| ■平成19年第2回(6月)定例会の概要 | 2   |
| ■7人が一般質問            | 3~6 |
| ■委員会審査のあらまし         | 7   |
| ■請願・陳情の審査結果         | 8   |
| ■原案可決された議案・編集後記     | 8   |

# 33の議案を慎重審議

平成19年第2回(6月)定例会

6月定例会(第2回)は6月12日に招集され、27日までの16日間の会期で行われました。

初日に市長から諸般の報告があり、この中で(仮称)イオン大曲ショッピングセンターについては、「4月16日に施設計画の変更に伴う市の『地域の農業の振興に関する大仙市の計画』の変更に関し協議したところ、家電やホームセンター、カー用品の大型専門店の出店等により、延べ床面積が67,826㎡との説明があり、市としては地元の



商業者の理解を得るためにも面積の圧縮について要望した。その後説明を受け、5月24日、最終案として延べ床面積62,462㎡、店舗面積は39,308㎡との計画説明を受けました。当初計画と施設計画が変更となっており、地元の人口構成や消費者ニーズの調査の結果を踏まえ、さらには県南で唯一の映画館が閉館になるなど、当初計画時とは地域環境も変化しており、また雇用についても1千名から1,250名に拡大されたことや店舗面積も圧縮させたことなどから、一定の評価をした。大曲商工会議所は「当初計画と大きく変更となっており承認できない」との方針を示しておりですが、ご理解いただけよう説明してまいりたい。当該施設の建設により市外からの買い物の誘致等、市経済、税収への波及効果など期待できるものと考えている」と述べられました。

また、家庭ごみの有料化については、「有料化を実施している他市町村のごみの排出量の推移を見ると、有料化後にごみの

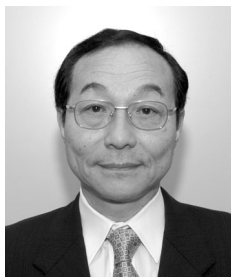
減量化、再資源化の進展が顕著であることから本市としても、取り組みたいと考えている。平成20年度からの有料化に向けて、6月下旬から全市で住民説明会を開催し、ここでいただいた意見を今後策定する『有料化計画』に反映させたい」と述べられました。

最終日に追加された人事案件等も含め上程された案件は、条例案17件、補正予算11件、単行案3件、人事案2件で、いずれも原案可決並びに同意と決しました。

## 人事

### 教育委員会

委員の任命に同意



物部長仁氏  
(協和境・新任)

### 人権擁護委員の

推薦に同意



土肥広子氏  
(刈和野・再任)

## 総額で22億8,559万3千円を補正 一般会計は児童手当制度の改正による扶助費など

一般会計の補正予算は、国庫補助事業費及び県補助費の採択や各施設の修繕費、児童手当制度の改正による乳幼児加算に伴う扶助費、後期高齢者医療制度等の電算システム関係経費などの補正が主なものであり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ6億2,893万6千円を追加し、補正後の予算総額を434億7,297万6千円といたしました。

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	628,936	43,472,976
特別会計		
国民健康保険事業	474,612	9,852,655
老人保健	60,004	9,527,339
土地区画整理事業	617,500	2,614,424
宅地造成事業	54,059	267,042
簡易水道事業	445,482	2,598,688
荒川財産区	1,807	4,792
峰吉川財産区	824	3,969
船岡財産区	968	3,253
淀川財産区	1,401	4,194
合計	2,285,593	

## 小山議員に40年永年勤続者表彰

大坂議員と藤井議員にも表彰状

6月11日に東京都日比谷公会堂で開催された「第83回国市議会議長会定期総会」において、小山誠治議員が市議会議員在職40年以上、大坂義徳議員が在職20年以上、藤井春雄議員が在職10年以上の永年勤続者として同議長会の表彰を受けられ、第2回定例会の冒頭で橋本議長より表彰状が伝達されました。



在職40年永年勤続表彰を伝達された小山誠治議員

## 一般質問

改良工事の実施で  
主要地方道の利活用を

大山利吉 議員



◆昨年7月に実施した学校施設遊具の点検結果はどうだったか。  
【相馬教育次長】 小学校については90基点検し、緊急に修理が必要で事故につながると判断されたA判定が7基、老朽が激しく修理不可能のB判定が13基

◆改良することにより主要市道としての機能を発揮しうる道路特に大曲地域と仙北地域を接続する谷地添地内の市道について改良工事を実施し、主要市道として利活用を図るべきと思うが。

◆点検に要した費用及び危険遊具の撤去費用はいくらなのか。  
【相馬教育次長】 業務委託料は17万9,550円、撤去費用は

◆改良することにより主要市道につきましては、仙北地域と大曲地域の国道13号及び大曲西道路を結ぶ極めて重要路線と考えており、地元関係者のご理解とご協力を得ながら早期に改良整備したいと考えております。なお、本年度は幅員の狭い部分の

## 一般質問

学校施設遊具の  
点検結果と  
撤去後の対応は

佐藤隆盛 議員



◆点検に要した費用及び危険遊具の撤去費用はいくらなのか。  
【相馬教育次長】 業務委託料は17万9,550円、撤去費用は

◆撤去された遊具の中には、補修、塗装し直しなどによって使用できるものと、補修作業をしても安全性が確保できないものとの区分を頂いたことから、判定結果に基づいて危険な遊具を撤去したところであります。

◆撤去された遊具の中には、補修、塗装し直しなどによって使用できるものと、補修作業をしても安全性が確保できないものとの区分を頂いたことから、判定結果に基づいて危険な遊具を撤去したところであります。

◆撤去された可動する遊具につ

◆撤去された可動する遊具につ

◆撤去された可動する遊具につ

## 一般質問

7人の議員が市政全般にわたり  
市当局の見解をたどりました。  
以下はその要旨です。

◆横堀地区ほ場整備事業において、登記処理の遅れにより土地売買等ができて苦慮している住民を救済するため、登記作業の迅速化を図られるようお願いするべきと思うがどうか。

【藤原農林商工部長】 当初平成18年3月の完了を目標に事務処理を進めておりましたが、隣接箇所の筆界未定や分筆の必要が発生し、その処理に要する書類等の準備に時間を要したことから、予定どおり進捗していない

◆市立美術館の建設について、中長期的な建設計画、考え方について伺いたい。

【栗林市長】 芸術文化協会が昨年度全市統合されまして280団体、約5千人の会員を擁する大きな団体として新発足しております。これを機に、本市の芸術文化のますますの隆盛が極め

◆市立美術館の建設について、中長期的な建設計画、考え方について伺いたい。

【栗林市長】 芸術文化協会が昨年度全市統合されまして280団体、約5千人の会員を擁する大きな団体として新発足しております。これを機に、本市の芸術文化のますますの隆盛が極め

◆市立美術館の建設について、中長期的な建設計画、考え方について伺いたい。

【栗林市長】 芸術文化協会が昨年度全市統合されまして280団体、約5千人の会員を擁する大きな団体として新発足しております。これを機に、本市の芸術文化のますますの隆盛が極め

◆市立美術館の建設について、中長期的な建設計画、考え方について伺いたい。

【栗林市長】 芸術文化協会が昨年度全市統合されまして280団体、約5千人の会員を擁する大きな団体として新発足しております。これを機に、本市の芸術文化のますますの隆盛が極め

一般質問

限界集落に対する市長の見解は

杉沢千恵子 議員



あると考えております。  
◆大仙市に16箇所あるという限界集落の現状と、これらに対する具体的な方策は。

【栗林市長】 16箇所のうち、9箇所は特別養護老人ホーム等の老人を対象にした入所施設を有する区域であり、4箇所は大曲地域の市街地等であります。残り3箇所が農山村地域でありますが、この集落についても集落の維持が困難な地域とはなっていないと考えております。現在、当市でも世帯数が少なく、生活上問題を抱えている集落があることは承知しており、生活に支

障をきたさないよう、それぞれの問題に対応したいと存じます。  
◆地球温暖化対策の一環として生物資源を利用したバイオエタノール等の利用が進んでいるが、これらのバイオマス事業に関してどのような考えを持っているのか。

【栗林市長】 温暖化対策の究極の目標である、大気中の温室効果ガスの濃度を安定させることへの取り組みのひとつとしてバイオマス事業は注目され、農業の面においても循環型社会の形成を図るとともに、水田の景観や機能維持を図りながら雇用

◆限界集落の問題に対する市長の基本的な立場と見解は。  
【栗林市長】 人口減少による過疎化と急速な高齢化により、農業や生活道路の管理など、コミュニティとしての集落機能の維持や地域に育まれた独自の文

化の保存、また、農山村のもつ地域資源の管理等の維持が困難となる地域の発生は、広大な市域を有する当市にとつても大きな問題であり、集落の機能が低下しないよう、集落・地域に対する活性化対策の検討が必要で

気持ちや地域とのふれあいを実感したりするなどの教育効果も期待できます。4月からは提供可能な野菜の種類や収穫量、収穫時期等について、JA秋田おぼこからお知らせをいただき、旬の野菜を学校給食に取り入れ、より一層の地場産拡大に努

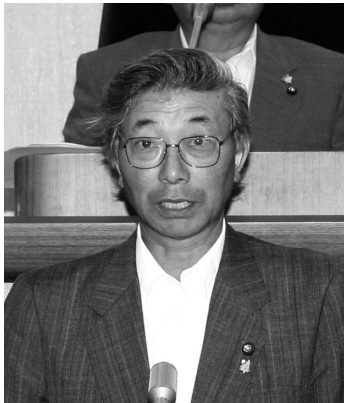
【今井教育次長】 農作物の栽培体験を行い、収穫された野菜やお米などを給食に取り入れることにより、生産活動と日々の食事の繋がりを実感させたり、自校での調理実習や行事食で使用したりするなど、自分たちが汗を流して作った野菜を食べることとは、食の教育そのものであり、教育委員会並びに学校給食総合センターとしても可能な限り協力してまいりたいと存じます。

【栗林市長】 大曲税務署に相談が報道され、これが参加をにぶらせる原因となっているようだが、市として今後の指導は。  
（杉沢議員はこの質問のほか、「学校図書館の図書整備について」「仮称ハッピーマザー券で子育て支援を」の質問も行いました）

一般質問

給食センターで地場産材料を増やす計画は

児玉裕一 議員



◆学校給食総合センターで使用されている材料について、米は全量がJAであり、野菜も少しずつではあるが、地場産を使用していることだが、今後さらに地場産を増やす計画は。

学校給食の食料として地域の産物を活用することは、旬の食材を利用できることにより食事内容を多様化でき、また、児童生徒と生産者との距離を近づけ、両者の顔が見えることにより、地域の産業や文化に関心をもったり、感謝の

めているところであります。  
◆小・中学校では、課外授業の一つとして、稲の栽培に取り組んでいるようであるが、農家の減反の土地を借入れし、子供達が自分の手で作った野菜を給食に使用してみるといったアイデアも必要ではないかと思うが。

【今井教育次長】 農作物の栽培体験を行い、収穫された野菜やお米などを給食に取り入れることにより、生産活動と日々の食事の繋がりを実感させたり、自校での調理実習や行事食で使用したりするなど、自分たちが汗を流して作った野菜を食べることとは、食の教育そのものであり、教育委員会並びに学校給食総合センターとしても可能な限り協力してまいりたいと存じます。

【栗林市長】 大曲税務署に相談が報道され、これが参加をにぶらせる原因となっているようだが、市として今後の指導は。  
（児玉議員はこの質問のほか、「農地・水・環境保全向上対策について」「秋田わか杉国体について」の質問も行いました）

◆農家が集落営農組織に加入することによって、贈与税の納税猶予が白紙になり、税金がとられるかもしれないといったこと

【栗林市長】 大曲税務署に相談が報道され、これが参加をにぶらせる原因となっているようだが、市として今後の指導は。

【栗林市長】 大曲税務署に相談が報道され、これが参加をにぶらせる原因となっているようだが、市として今後の指導は。

## 一般質問

住宅改修に  
受領委任方式の  
採用は

佐藤文子 議員



◆手すりの取り付けなど住宅改修において、後で介護保険から給付される分を自治体で立て替える「受領委任方式」を取り入れていただきたいが、見解を伺う。

【栗林市長】住宅改修にかかった費用を一旦施工業者に支払い

し、その後の申請によって利用者に給付される現行の仕組みでは、特に低所得者の方々にとりましては、一時的な負担が大きいかも事実ですので、市としてもサービスを受けられる方の利便性の観点から、そうしたこ

とへの配慮は必要なことであると認識しております。従いまして利用者は対象改修費用の1割を業者に支払い、残り9割分は利用者から受領委任を受け申請した施工業者に対して、保険者が直接支払う「受領委任払い方式」の採用を、保険者である大曲仙北広域市町村圏組合を構成します美郷町、仙北市と協議し、実施に向けて努力したいと考えております。

◆身障手帳を所持しない要介護認定者が障害者控除の適用を受けられる場合、障害者控除認定書の交付を受ける必要があるようだ

が、こうした手続きが市民に周知されているのか。併せて要介護認定者の障害者控除適用の現状をお知らせ願う。

【深谷健康福祉部長】年齢65歳以上の方の障害者控除の適用につきましては、身体障害者手帳等を所持するほか、知的障害者または身体障害者に準ずること、またはいわゆる寝たきりであることを、福祉事務所長が認定することにより可能となるもので、税務署から送付される「確定申告の手引き」及び事業所に配付

される「年末調整の手引き」等に記載されておりますが、これだけでは理解が難しい状況と考えられます。今後は市として統一した認定基準や運営要綱を定め、これらに基づいて障害者控除対象者の認定を行ってまいりたいと考えており、次回報告時に間に合うようその内容を整え、市の広報等を通じ制度の周知を図ってまいりたいと考えております。

（佐藤議員はこの質問のほか、「住民税について」「国保税について」の質問も行いました）

## 一般質問

県統合家畜市場建設地を  
協和・西仙北地域を含む  
県中央部へ

鎌田 正 議員



◆昨年の県議会の総括質疑の中で、秋田県統合家畜市場建設構想が出されたが、本市の畜産振興はもとより秋田県畜産振興のため是非実現を願うものである。統合市場の建設地については、本市協和・西仙北地域を含む県中央部を

切望するものであり、関係機関とも連携し、県への要望活動を進めていただきたいが、市長の見解は。

【栗林市長】市場統合につきましては、県当局が、県議会平成18年9月定例会の総括質疑において、広域由利・大曲・鹿角の家畜市場

を統合新設することで、由利・仙北地域を中心に生産者や市場開設者との協議を重ね、設置場所や運営方法を含む具体的な統合プランを提示し、平成19年秋までの合意を目指すと答弁されております。

本市としましては、農業算出額において米、野菜に次ぐ基幹部門である畜産を、今後とも推進してまいります。家畜飼料の高騰など、畜産を取り巻く情勢が年々厳しさを増している上、生産者の高齢化、後継者不足などから市場上場頭数は年々減少しております。このため上場頭数の増による市場の活性化、市場間

競争力の強化、市場運営の合理化を図るためにも、市場統合は必要不可欠であり、建設地としましては、地理的に県内から集まる生産者、購買者の利便性を考慮し、本市西仙北地域柏台の市有地を含む県の中央部に建設いただけたらよう要望してまいります。

◆大沢郷地区簡易水道工事は、地域の経済の活性化と雇用促進の為、是非地元業者への発注をお願いしたいが市長の考えは。

【栗林市長】工事発注にあたりましては、これまで全ての工事を1

本で5カ年一括発注するとしてご説明してきたところでありますが、取水、浄水場などの特殊構造物工事と配水管など管路工事を分割し、それぞれの工事の5カ年分を一括した発注方式にすること、管路工事については地元業者への発注を具体的に検討し、準備が整い次第、発注してまいりたいと考えております。

市政を知るために  
議会を傍聴しましょう

傍聴の受付は議会事務局で行っています。お電話でのお問い合わせは、

次の定例会は、6月中旬の予定を伺。

一般質問

市政の執行体制が本所中心主義ではないか

本間輝男 議員



◆政策・事業の立案、執行面について基本姿勢が本所中心主義になっているように見受けられるがどうか。

【栗林市長】市民の様々なご意見や要望については、各総合支所と綿密な連携を図りながら、政策や事業の立案に反映させ、各事務事業を遂行しているところであり、予算措置につきましても、人件費や扶助費等の義務的経費を除いては、各総合支所の担当部署に計上しております。執行面につきましては、18年度における全会計の支出負担行為の内、94.6%は課長決裁で完結しております。今後は現在の持ち回り決裁から、電子決裁の導入を検討するなど、より迅速な事務体制が図られるよう取り組んで参ります。

◆大仙市本庁・支所の市としての一体的な執行体制、連携強化を図るべきと考えられるかがか。

【栗林市長】総合支所は市民にとって一番身近な行政サービスを提供する総合行政機関と位置づけており、本庁の機能としては、各地域の施策及び事務事業の執行状況の把握、各課、各総合支所の窓口で寄せられました様々なご意

見、要望の集約、施策の立案、統一した事務の執行等が上げられます。今後も部内の政策調整会議や本庁支所の連絡調整会議などを実施し、職員の融和やネットワークの構築を図り、事務の停滞による行政サービスの低下など、市民の皆様にご不便をおかけすることのないよう一層連携を密にして参りたいと考えております。

◆一律の地域枠予算とは別に、人口割等を基礎とした、支所独自で事業を展開できる支所枠予算を設定するべきと考えらるか。

【栗林市長】人件費や扶助費等の義務的経費や、繰出金、一部事務組合の負担金など全域的なものについては本庁に、地域性の高い道路改良費などについては支所に予算措置しております。予算における本庁・総合支所の機能も十分に担っていると思っておりますので、人口割等を基礎とした支所独自予算の設定は必要ないものと思っております。

【本間議員はこの質問のほか、「中長期発展計画の早期の提案と具現化について」の質問も行いました】

第2回臨時会

8件の議案を承認・原案可決



4月20日に第2回臨時会が開催され、報告7件を承認、議案1件を原案可決と決し、閉会いたしました。

上程された議案は平成18年度大仙市老人保健特別会計補正予算などに係る専決処分報告7件のほか、平成19年度一般会計補正予算1件の合計8件。

一般会計補正予算については、3月15日に発生した丸の内児童館の火災により被災された世帯に対し見舞金を支給するもの。また、農事組合法人「かくまがわ」が事業主体となつて実施する乾燥調製施

設建設事業に係る補助金について、当初6月補正を予定していたものが、地盤が軟弱で工期が当初計画より2か月程度延びる見込となり、当初計画どおりこの秋から供用を開始するために着工を早める必要が生じたもの。また新たに商工観光課に企業誘致のさらなる促進を図ることから関係

予算を補正する必要があったもので、補正総額は5,534万円。議案等は各常任委員会に審査付託され、慎重審査されたあと、本会議で表決されました。

会派が再編されました

4会派から5会派へ

大仙市議会の会派の一つである新生会（大坂義徳会長）から3月31日に会派解散届が提出され、4月1日には「大地の会」、また、4月16日には「だいせんの会」の新生会の結成届けが提出され、大仙市議会の会派構成はこれまでの4会派から5会派に再編されました。新しい会派名と構成委員は次のとおりです。

【大地の会】16名

- ▼会長・北村稔
- ▼副会長・鎌田正
- ▼幹事長・佐々木洋一
- ▼副幹事長・金谷道男、斉藤博幸
- ▼幹事・武田隆、
- ▼監

- 事・本間輝男
- ▼会員・橋本五郎、千葉健、渡邊秀俊、大坂義徳、大山利吉、門脇一男、高橋幸晴、大野忠夫、藤田君雄
- 【だいせんの会】8名
- ▼会長・児玉裕一
- ▼副会長・竹原弘治
- ▼幹事長・佐々木昌志
- ▼会計・佐藤芳雄
- ▼会員・佐藤孝次、高橋敏英、橋村誠、菊地幸悦

【市民クラブ】3名

- ▼会長・小山誠治
- ▼幹事長・佐藤隆盛
- ▼会計・藤井春雄

【公明党】1名

▼代表・杉沢千恵子

【日本共産党】1名

▼団長・佐藤文子

## 総務常任委員会



当委員会に審査付託となった案件は追加議案を合わせ条例案3件、単行案2件、一般会計補正予算、荒川財産区ほか協和地域の財産区特別会計補正予算4件でいずれも原案可決並びに同意と決しました。

条例案の「大仙市督促手数料及び延滞金条例等の一部を改正する条例の制定について」は、市税以外の公法上の収入金（分担金、使用料、加入金、手数料等）に係る延滞金について、収納対策の一環として徴収事務を簡素化、円滑化するため、当該延滞金の額の計算方法を市税に係る延滞金の例に統一するもの。一般会計補正予算は平成21年度評価替に向けた標準宅地の鑑定委託料等として2,804万2千円、神岡地域宅地造成事業の土地売払収入に伴う繰上償還金3,968万9千円の補正。荒川財産区・峰吉川財産区・船岡財産区・淀川財産区特別会計補正予算は、協和地域小学校閉校記念事業の実施に伴う一般会計への繰出金の補正で、荒川財産区が180万7千円、峰吉川財産区が82万4千円、船岡財産区が96万8千円、淀川財産区が140万1千円の補正であった。

◆委員会審査のあらまし◆

## 企画産業常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、条例案6件、一般会計補正予算でいずれも原案どおり可決と決しました。

条例の制定のうち、「大仙市南外ふるさと館条例の一部を改正する条例の制定について」、「大仙市史跡の里交流プラザ『柵の湯』条例の制定について」、「大仙市仙北まがり家条例の制定について」、「大仙市仙北歴史民俗資料館条例の制定について」及び「大仙市仙北民具資料館条例の制定について」の5件は、その管理について指定管理者制度を導入することとし必要な条項を定めるもの。また「大仙市第三セクター運営観光施設等整備基金条例の制定について」は、市が出資する第三セクターが市の指定管理者の指定を受けて運営する観光施設等について、施設の整備等を必要とする場合の費用に充てるため、第三セクターからの寄付金を原資として基金を設置するもの。一般会計補正予算は後期高齢者医療制度等の電算システム関係経費7,213万円、目指せ元気な担い手農業夢プラン応援事業費の補助対象者の増により8,489万2千円、南外・滝地区のテレビ難視聴地域解消施設整備事業で1,318万8千円、生活バス路線運行維持対策経費8,983万4千円の補正等であった。



## 教育民生常任委員会



当委員会に審査付託となった案件は、条例案5件、一般会計補正予算、特別会計補正予算2件で、いずれも原案どおり可決と決しました。

条例の改正のうち、「大仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について」は、財政的に逼迫してきている本市国民健康保険事業の状況を勘案し、国民健康保険税率を引き上げるとともに、国民健康保険税の軽減措置について、税率改正に伴う軽減額の改正を行うもの。また、「大仙市公の施設の管理に係る指定管理者制度の導入に伴う教育委員会関係条例の整備に関する条例の制定について」は、協和多目的交流施設、南外民俗資料交流館、大仙市民プール、大曲ファミリースキー場、大曲ファミリーキャンプ場、大仙市民体育館、大曲武道館、サン・スポーツランド協和、サン・スポーツランド協和野球場の教育委員会所管施設の管理について、指定管理者制度を導入することとし、関係条例の整備を行うもの。一般会計補正予算は自動体外式除細動器（AED）87台の導入に係る諸経費1,731万6千円、西仙北、協和、仙北、太田の各野球場修繕工事費として1,577万8千円等の補正。老人保健特別会計補正予算は、18年度医療費等の精算に伴う返還金の補正で6,000万4千円の補正であった。

## 建設水道常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は追加議案を合わせ、条例案3件、単行案1件、一般会計補正予算、特別会計補正予算3件で、いずれも原案どおり可決と決しました。

条例案の「大仙市農業集落排水施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、現在施工中の太田今泉地区及び大曲西部地区の農業集落排水施設について、それぞれ今年7月2日と10月1日から供用を開始する予定であることから、当該施設の名称、処理場の位置、処理区域及び使用料を規定するもの。一般会計補正予算は、土地区画整理事業特別会計繰出金2,860万円、まちづくり交付金事業として神宮寺駅舎改築工事費等で685万3千円の補正など。特別会計補正予算のうち、大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算は、大曲駅前第二地区土地区画整理事業の工事請負費及び建物移転補償費等で6億1,750万円の補正。宅地造成事業特別会計補正予算は神岡下川原地区分譲地売払収入の増額に伴う一般会計繰出金等で5,405万9千円の補正。簡易水道事業特別会計補正予算は西仙北大沢郷地区の簡易水道施設整備事業費で4億4,548万2千円の補正であった。



(各顔写真は、第2回定例会で委員会審査報告をする各常任委員会委員長です。)

## 提出された議案と審議結果

(■=原案可決 ■=同意 ■=認定 ■=承認)

### 【第2回 臨時会】 4月20日開会(1日間)

- 専決処分報告について(平成18年度大仙市老人保健特別会計補正予算(第4号))
- 専決処分報告について(平成18年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入額の変更)
- 専決処分報告について(平成18年度大仙市一般会計補正予算(第7号))
- 専決処分報告について(平成18年度大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号))
- 専決処分報告について(平成18年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算(第2号))
- 専決処分報告について(大仙市税条例の一部を改正する条例)
- 専決処分報告について(大仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
- 平成19年度大仙市一般会計補正予算(第1号)

### 【第2回 定例会】 6月12日～6月27日開会(16日間)

- 大仙市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市農業集落排水施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市南外ふるさと館条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市児童館及び児童センターに関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市招致外国青年住宅設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市督促手数料及び延滞金条例等の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市駐車場条例及び大仙市大曲駅自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市公の施設の管理に係る指定管理者制度の導入に伴う教育委員会関係条例の整備に関する条例の制定について
- 大仙市史跡の里交流プラザ「柵の湯」条例の制定について
- 大仙市仙北まがや家条例の制定について
- 大仙市仙北歴史民俗資料館条例の制定について
- 大仙市仙北民具資料館条例の制定について
- 大仙市第三セクター運営観光施設等整備基金条例の制定について
- 大仙市の債権の管理に関する条例の制定について
- 大仙市八乙女交流センター条例の制定について
- 字の区域の変更について
- 字の区域の変更について
- 平成19年度大仙市簡易水道事業特別会計への繰入額の変更について

- 平成19年度大仙市一般会計補正予算(第2号)
- 平成19年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成19年度大仙市老人保健特別会計補正予算(第1号)
- 平成19年度大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成19年度大仙市宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成19年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成19年度大仙市荒川財産区特別会計補正予算(第1号)
- 平成19年度大仙市峰吉川財産区特別会計補正予算(第1号)
- 平成19年度大仙市船岡財産区特別会計補正予算(第1号)
- 平成19年度大仙市淀川財産区特別会計補正予算(第1号)
- 平成19年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 教育委員会委員の任命について
- 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

## 請願・陳情

### 【請願】

◇神岡地域一級市道9号(通称:藤原農道)の拡幅改良を求めることについて

提出者=神宮寺関金自治会会長 齊藤永太郎他6名  
=採 択=

◇道路の補修について(市道村杉4号線)

提出者=村杉部落 部落部長 安部寛治  
=採 択=

### 【陳情】

◆イオン大曲ショッピングセンター開設に反対し中心市街地活性化協議会の早期設置を求めることについて

提出者=イオン大曲ショッピングセンター開設反対期同盟会  
新しい街づくりを考える会 代表者 辻原猪一郎  
=一部採択=(開設反対の部分は採択、協議会の早期設置の部分は採択)

◆日豪EPA・FTA交渉に対することについて

提出者=食と水・みどりを守る大仙仙北労農市民会議  
議長代行 山崎康夫  
=継続審査=

◆旧南外村道8号線の拡幅工事等について

提出者=南外字下木直 相馬好宏  
=継続審査=

◆誤った国土調査の修正と、用水路の復元について

提出者=南外字下木直 今野貞一  
=継続審査=



ノーネクタイ定例会開会中、市政報告のイオンの状況、家庭ゴミ有料化、学校教育ビジョンについて、全員協議会が開催された。特にイオン協議会は公開で開催された。いずれにしても住民への説明責任はしっかりと果たしてもらいたい。

ゴミ問題は地球環境に大きく関わる課題である。雄物川をカヌーで下る機会を得、異なる角度から周りを眺めることが出来た。前日の雨で増水したせいか緑の爽やかさと対象にゴミの流出が多く考えさせられた。1961年宇宙飛行士ガガーリンの地球は青かった。1999年毛利さん地球にはまだ緑の森と綺麗な水があると感想を述べている。地球温暖化を考えると、ゴミの減量再資源化推進には有料化も一つの策である。市民ひとり一人の批判と反省で意識改革を進め次の世代に美しい地球を残したいものである。

編集委員 大野忠夫 記